

2021年度以降のインバランス料金の詳細設計等に係る検討状況の確認（認識合わせ）

第44回制度設計専門会合で示された中間とりまとめをベースに、新インバランス料金制度と主に補正料金算定インデックス並びに広域予備率に係る情報公表について詳細を整理したので、認識合わせをした。

- 2021年度以降のインバランス料金の詳細設計等に係るこれまでの主な整理等は下表の通り。

	2021 年度	2022～2023 年度	2024 年度以降									
インバランス料金の種類	<p>現行の k, l を継続</p>	<p>①通常のインバランス料金（広域運用調整力の限界的な kWh 価格）</p> <p>30 分コマ内の前後半各 15 分の限界的な調整力 kWh 価格を各 15 分におけるインバランス量によって加重平均して得られる値（2023 年度以降は、各 15 分から各 5 分となる。）</p> <p>②卸市場価格による補正インバランス料金</p> <p>時間前市場における取引の実需給に近い取引から異なる 5 事業者・5 取引の単純平均価格を P とする。</p> <p>下記の補正を行い、該当するものを②（卸市場価格による補正インバランス料金）とする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>系統余剰のとき</th> <th>系統不足のとき</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余剰インバランス料金</td> <td>①または P の低い方</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>不足インバランス料金</td> <td>①</td> <td>①または P の高い方</td> </tr> </tbody> </table> <p>③需給ひっ迫時補正インバランス料金</p> <p>補正料金算定インデックスに対応する需給ひっ迫時補正インバランス料金（補正インバランス料金カーブ）を決定。</p> <p>②、③の高い方をインバランス料金とする。</p> <p>※エリア分断時は分断後の広域ブロックごとにインバランス料金を算定する</p> <p>※上記のほか、広域運用調整力の指令量がゼロの場合、太陽光等の出力抑制ケースの場合のインバランス料金、沖縄エリアのインバランス料金が存在。</p>		系統余剰のとき	系統不足のとき	余剰インバランス料金	①または P の低い方	①	不足インバランス料金	①	①または P の高い方	<p>① 同左</p> <p>② 同左</p> <p>③需給ひっ迫時補正インバランス料金</p> <p>運用で使う広域予備率に対応する需給ひっ迫時補正インバランス料金（補正インバランス料金カーブ）を決定。</p> <p>同左</p>
	系統余剰のとき	系統不足のとき										
余剰インバランス料金	①または P の低い方	①										
不足インバランス料金	①	①または P の高い方										

	2021 年度	2022～2023 年度	2024 年度以降
補正インバランス料金のカーブの横軸	未運用	<p>補正料金算定インデックス (%)</p> <p>①供給力の定義 「広域エリア内の供給力」とは「小売供給力+調整電源のうち GC 以降に送配電が利用可能な量」を指す。ただし、電源Ⅲ余力は含まない。</p> <p>②調整水力の算定方法 (貯水式・調整式水力、揚水発電) 以下のいずれか小さい方 ・設備最大出力 ・GC 時点で調整力として活用できる貯水量／3 時間 + 発電計画値 (BG 共用の場合)</p> <p>③電源 I'・緊急時自家発^(注2)・火力増出力 (火力 OP) の取扱い ・電源 I' の発動を横軸 (補正料金算定インデックス) に反映する。 電源 I' の kWh 価格を通常のインバランス料金 (広域運用調整力の限界的な kWh 価格) に反映する。</p> <p>・緊急的に確保した自家発からの逆潮を横軸 (補正料金算定インデックス) に反映しない。 緊急的に確保した自家発からの逆潮は、補正インバランス料金カーブに算入する。(自家発を発動しなかった場合の補正料金算定インデックスに対応する需給ひっ迫時補正インバランス料金とする)</p> <p>・火力増出力の発動を横軸 (補正料金算定インデックス) に反映しない。 火力増出力の発動は、補正インバランス料金カーブに算入する。(火力増出力を発動しなかった場合の補正料金算定インデックスに対応する需給ひっ迫時補正インバランス料金とする)</p> <p>(注 2) 緊急時自家発とは、一般送配電事業者が緊急的に確保した自家発のこと。</p>	<p>運用で使う広域予備率 (%)</p> <p>①供給力の定義 「広域エリア内の供給力」とは「小売供給力+発電余力」を指す。ただし、電源Ⅲ余力相当の取扱いは別途要議論。</p> <p>②調整水力の算定方法 (貯水式・調整式水力、揚水発電) ・発電計画値+24 時までの予備率一定の潜在計算^(注1)。 (注 1) 24 年度以降の潜在計算については別途要議論。</p> <p>③発動指令電源・緊急時自家発^(注2)・火力増出力 (火力 OP) の取扱い ・発動指令電源の発動を横軸 (広域予備率) に反映する。 発動指令電源の kWh 価格を通常のインバランス料金 (広域運用調整力の限界的な kWh 価格) に反映する。</p> <p>・緊急的に確保した自家発からの逆潮を横軸 (広域予備率) に反映する。 緊急的に確保した自家発の kWh 価格は、通常のインバランス料金 (広域運用調整力の限界的な kWh 価格) に反映する^(注3)。</p> <p>・火力増出力の発動を横軸 (広域予備率) に反映する。 火力増出力の kWh 価格は、通常のインバランス料金 (広域運用調整力の限界的な kWh 価格) に反映する^(注3)。</p> <p>(注 3) 制度設計専門会合では左記 2023 年度までの方法を「当面の対応」としていることから、将来的には電源 I' と同様の扱いを想定。</p>

	項目	2021 年度	2022～2023 年度	2024 年度～
情報公表	広域エリア供給力 〔MW〕、 広域予備率 〔%〕	<ul style="list-style-type: none"> ・週間計画^(注4) 初期値 ：毎週木曜日に各エリアの最大 需要時の値で演算、初期値^(注5) として公表する。 (注5) 各エリアで最大需要時が 違うため参考値となる。 ・翌々日計画 初期値 ：演算しない、公表しない。 ・翌日計画、当日計画 初期値、更新値 ：前日 17 時 30 分に翌日 0 時 から 24 時^(注6) (48 コマ分) ま での各コマを演算、初期値と して公表する。 (注6) 翌日 0 時から 10 時までの 各コマは初期値=最終計画値と なる。 最終計画値 ：前日 17 時 30 分に翌日 0 時か ら 10 時までの各コマを演算、 公表する。 当日 9 時に 10 時から 24 時ま での各コマを演算、公表す る。 また、需給ひっ迫時 (他エリ ア含む) に算出断面から 24 時 までの各コマを演算、公表す る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週間計画^(注4) 初期値 ：毎週木曜日に広域機関が指 定する時刻 (広域エリアの 最大需要時、最小予備率 時) のコマで演算、初期値 として公表する。 ・翌々日計画 初期値 ：演算しない、公表しない。 ・翌日計画、当日計画 初期値、更新値 ：前日 17 時 30 分に翌日 0 時 から 24 時 (48 コマ分) ま での各コマを演算、初期値 として公表する。 前日 23 時から順次、翌日 0 時から 24 時までの各コマ を GC ごとに演算、更新値 として公表する。 最終計画値 (1 コマ分^(注7)) ：GC 後、速やかに公表す る。 (注7) 最終計画値が 1 コマ分 であり、算出断面から同日 24 時までの各コマは、更新 値として同時に公表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・週間計画^(注4) 初期値 ：同左 ・翌々日計画 初期値 ：前々日に広域機関が 指定する時刻 (広域 エリアの最大需要 時、最小予備率時) のコマで演算、初期 値として公表する。 ・翌日計画、当日計画 初期値、更新値 ：同左 最終計画値(1 コマ分) ：同左
	補正料金算定インデ ックス 〔%〕	<ul style="list-style-type: none"> ・当日計画 未運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日計画 初期値、更新値 ：演算しない、公表しない。 最終計画値 (1 コマ分) ：コマ終了後、速やかに 公表する。 	広域予備率に統一

(注4)本資料 P5. 第 44 回制度設計専門会合資料の赤枠の部分のうち、「広域エリア供給力、広域予備率」のみ週間、翌々日、翌日、当日計画を公表し、その他は当日計画 (初期値、更新値、最終計画値 (予測値)) を公表する。

	項目	2021 年度	2022～2023 年度	2024 年度～
情報公表	インバランス料金単価 〔円/kWh〕	・当日計画 新インバランス料金制度未運用 (現行の k, l を継続)	・当日計画 初期値、更新値 : 演算しない、公表しない。 最終計画値 : コマ終了後、速やかに (データ連携し、全ての演算が終了次第) 公表する。	・当日計画 初期値、更新値 : 同左 最終計画値 : 同左
	インバランス料金単価 の諸元① (広域運用調整力の限 界的な kWh 価格) 〔円/kWh〕	・当日計画 新インバランス料金制度未運用	・当日計画 初期値、更新値 : 演算しない、公表しない。 最終計画値 : コマ終了後、速やかに公表 する。	・当日計画 初期値、更新値 : 同左 最終計画値 : 同左
	インバランス料金単価 の諸元② (卸市場価格による補 正インバランス料金) 〔円/kWh〕	・当日計画 新インバランス料金制度未運用	・当日計画 初期値、更新値 : 演算しない、公表しない。 最終計画値 : コマ終了後、速やかに公表 する。	・当日計画 初期値、更新値 : 同左 最終計画値 : 同左
	インバランス料金単価 の諸元③ (需給ひっ迫時補正イ ンバランス料金) 〔円/kWh〕	・当日計画 新インバランス料金制度未運用	・当日計画 初期値、更新値 : 演算しない、公表しない。 最終計画値 : GC 後、速やかに (データ 連携し、全ての演算が終了 次第) 公表する。	・当日計画 初期値、更新値 : 同左 最終計画値 : 同左

(注 4) 本資料 P5. 第 44 回制度設計専門会合資料の赤枠の部分のうち、「広域エリア供給力、広域予備率」のみ週間、翌々日、翌日、当日計画を公表し、その他は当日計画（初期値、更新値、最終計画値（予測値））を公表する。

(参考)

第 44 回制度設計専門会合において新インバランス料金制度に関する詳細設計は下記のように整理された。この内、赤枠の部分については、広域予備率及び補正料金算定インデックスが関連する項目で、2022 年度断面と 2024 年度以降における変遷が複雑なので、制度と情報公表を年度展開として整理をした。

2019 年 12 月 17 日 第 44 回制度設計専門会合 資料 3-2 一部抜粋

● エリアの需給状況に関する情報

項目名	公表のタイミング
連系線の空き容量	状況変化に基づき随時公表
発電ユニット等の停止情報	状況変化に基づき随時公表
広域エリア供給力/広域予備率 (GC 時点での最終計画値)	GC 後速やかに公表 (実需給前まで)
広域エリア供給力/広域予備率 (予測値)	一週間前、前日夕方、前日 23 時から 30 分ごとに当日 0 時から 24 時までの各コマの GC 時点の予測値を公表
補正料金算定インデックス (GC 時点での最終計画値)	コマ終了後速やかに公表 (遅くとも 30 分後まで)

インバランス料金に関する情報

インバランス料金の情報は、系統利用者が最新の状況を把握する上で不可欠な情報であるとともに、その算定根拠を公表することでインバランス料金の透明性を確保することに資する。

項目名	公表のタイミング
インバランス料金	コマ終了後速やかに公表 (遅くとも 30 分後まで)
広域運用調整力の指令量 (≒インバランス量)	コマ終了後速やかに公表 (遅くとも 30 分後まで)
インバランス料金の算定根拠 (指令した調整力の限界的な kWh 価格)	コマ終了後速やかに公表 (遅くとも 30 分後まで)
インバランス料金の算定根拠 (卸市場価格による補正インバランス料金)	コマ終了後速やかに公表 (遅くとも 30 分後まで)
インバランス料金の算定根拠 (需給ひっ迫時補正インバランス料金)	GC 後速やかに公表 (実需給前まで)